館 山 市 立 房 南 中 学 校

所在地　館山市佐野2070
電　話　0470-28-0042
所在地　0470-28-0495
E-mail　bounante@city.tateyama.lg.jp
bounante@city.tateyama.chiba.jp

1　学校教育目標

【豊かな心を持ち、自ら考え実践する生徒の育成】
「房南中が好きです　～進んでやろう　大切にしよう　夢中になろう～」

(1)　目指す生徒の姿
①　進んで考え、正しく判断し、的確に表現できる生徒（思考力・判断力・表現力）
②　豊かな心を持ち、自他を大切にし、共に高め合う生徒（人間性）
③　心身共に健康で、最後までたくましくやり抜く生徒（健康・体力・意志力）
④　ふるさと房南を愛し、組織や社会に貢献できる自立した生徒（自立と社会性）

(2)　目指す学校の姿
①　明るく、楽しく、笑顔があふれる学校（活力）
②　清潔で、整った、あたたかい学校（環境整備）
③　生徒が安心して生活できる学校（安全と信頼）

(3)　目指す教職員の姿
①　教育公務員として信頼される教職員（信頼醸成）
②　生徒に寄り添い、よさを引き出す教職員（誠意と情熱）
③　研究と修養に努め、自らを高める教職員（向上心）
④　協力して学校経営に参画する教職員（協調と協働）

2　学校経営の方針

(1)　全職員協働による学校経営
(2)　生きる力の育成
(3)　自主性・自立心の確立
(4)　信頼される学校づくり

3　学校経営の重点

(1)　新しい教育活動への積極的な取組
(2)　表現力の育成とICT機器の有効活用
(3)　存在感を味わえる生徒指導と学年・学級経営
(4)　安心・安全な教育活動と学校環境

4　具体的な取組

(1)　目指す生徒を育成するための取組
「説明」「発表」「協議」の場を大切にした学習活動
ICT機器の活用促進（各教科・領域での日常的な活用と持ち帰り）
「考え、議論する道徳」授業の充実と相互授業参観の実施
いじめの早期発見と早期解決に向けた、全教職員による情報共有と組織的な対応
生徒の共感的理解と教育相談活動の充実
目標に向かって運動に取り組む資質・能力の育成
Hyper-QUのアセスメントに基づく学級経営と個別の支援
生徒一人一人が達成感を味わえる学校行事や部活動

(2)　目指す学校をつくるための取組
生徒一人一人の安全意識の向上、施設・設備の点検の徹底による、安心で安全な教育活動の展開
積極的な情報発信による学校理解の促進
適正な予算執行と学校徴収金の処理、教職員の服務規律の遵守による信頼される学校づくり
職員個人の資質能力の向上と、新しい取組への挑戦
相談体制の充実による職員の経営参画意識の向上と、組織の活用促進
計画的な教材や学校備品の購入による教育環境の充実

5　研究計画

(1)　研究主題

生徒が自ら「思考し、表現する力」の育成

(2)　研究主題設定の理由

今までの学力分析から生徒の思考力の弱さが見られる。学校の課題として、思考力の向上の必要性を感じる。昨年度からの継続研修の振り返り活動のさらなる定着から、知識の定着の確認と思考力の向上の確認につなげていきたい。また、授業中の生徒の 「聞く姿勢」や「問いかけへの反応」ができているが、積極的な意見発表に結びつかない状況にある。1学年1学級で、ほとんどの生徒が小学校から同じメンバーで過ごして、わざわざ言葉で伝えなくても、わかり合える環境にあることも明確な意見を述べない一因となっている。これらの解消を図るために、表現する力の向上も視野に入れた研究主題を設定した。

(3)　研究のねらい

千葉県の取り組みである「思考し，表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用して，思考し，自分の考えを形成する活動や，自分の考えを文章や口頭で表現する効果的な活動を，各教科で考察する。また定期的な学習振り返り活動を通して，自分の思考を表現に置き換える習慣をつけ，「思考し,表現する力」の育成を目指す。さらに,振り返りを次の学習につなげることで,学びに対して主体的に向かう姿勢を養う。

(4)　研究仮説

すべての授業の中で，思考し，自分の考えを形成する活動や，自分の考えを文章や口頭で表現する活動を取り入れ，それを習慣化すれば，生徒の「思考し，表現する力」が高められるであろう。さらに，学習振り返りシートへの記述を通し,生徒が自分の思考を表現に置き換えることを積み上げれば，文章としての表現力の向上も望めるであろう。また，思考を表現することを苦手とする生徒を個別に支援することで，表現力のボトムアップを図り，学校全体の「思考し，表現する力」を高めることができるであろう。

(5)　研究内容

①授業：自分の思考を文章や口頭で表現する場面を設ける。（実践モデルプログラムを活用）
②学習振り返りシート：継続可能な方法で，全教科で取り組む。
➠ 記述表現を充実させるための手立てを考察する。
③教科部会：「思考し，表現する力」を数値化し，成長を比較する方法を考察する。
④生徒活動優先日（何もない月曜日年4回＋実行部・評議会の日）に学習支援を行う。
⑤学習サイクルの確立＋授業の始まり3分の読書タイムの実施。

6　日課表

	火曜日～金曜日	月曜日
朝読書	8:00 ～ 8:10	8:00 ～ 8:10
学　活	8:10 ～ 8:20	8:10 ～ 8:20
1校時	8:25 ～ 9:15	8:25 ～ 9:15
2校時	9:25 ～ 10:15	9:25 ～ 10:15
3校時	10:25 ～ 11:15	10:25 ～ 11:15
4校時	11:25 ～ 12:15	11:25 ～ 12:15
給　食	12:15 ～ 12:40	12:15 ～ 12:40
昼休み	12:40 ～ 13:05	12:40 ～ 13:05
清　掃	13:10 ～ 13:20	
5校時	13:30 ～ 14:20	13:10 ～ 14:00
6校時	14:30 ～ 15:20	
学　活	15:25 ～ 15:45	14:05 ～ 14:25
諸活動		14:30 ～ 15:20
体力・部活	15:55 ～	

主な週予定
○月・木　朝の打合せ
○月(第2週) 校内研修
○月(第3週) 総務会
○月(第4週) 職員会議
○月(第5週) 特支教育委員会
○水(5校時) 主任会
○金(6校時) 生徒指導委員会

4月	下校時間	18:00
5～7月		18:15
9月		17:45
10月1～2週		17:30
8月・10月3週～		17:00
11月・12月		16:45
1月～2月2週		17:00
2月3・4週		17:15
3月		17:30

7　学級編成・担任（ 学級数6　男子:39　女子:35　計:74 ）

1年			
担当	氏　名	男子	女子
主任	笹子　竜侍	12	8
担任	久我　明穂		
副担任	小倉　綾司		
グリーン学級			
担任	庄司　亨	1	1

2年			
担当	氏　名	男子	女子
主任	山田めぐみ	14	13
担任	飯田　一貴		
グリーン学級			
担任	庄司　亨	0	1
ふれあい学級			
担任	今泉沙弥香	0	1
オアシス学級			
担任	前田　徹	0	1

3年			
担当	氏　名	男子	女子
主任	海地　誠治	13	14
担任	島津　裕司		
ふれあい学級			
担任	今泉沙弥香	1	0

8　校務分掌

令和五年度　房南中学校　校務分掌

○教務主任　栗原　裕生
○生徒指導主任　島津　裕司
○研究主任　山田めぐみ
○進路指導主任　海地　誠治
○保健主事　山中　有美

学年担当職員
１年　笹子　久我　庄司　小倉
２年　山田　飯田　前田
３年　海地　島津　今泉

校長

教頭

総務会・主任会

学年経営

職員会議

教務

教科指導	国語	海地
	社会	島津　前田
	数学	栗原
	理科	久我　庄司
栗原	音楽	今泉
	美術	伊藤
	保体	飯田　笹子
	技術	井上
	家庭	今泉　久我
	英語	山田
道徳指導	久我　飯田　島津	道徳教育推進教師　山田
特別活動	学級活動	久我　飯田　島津
飯田	生徒会	前期　島津　飯田
	後期	飯田　久我
	会計	久我　小倉
	実行部	生活部　庄司　飯田　島津
	学芸部	海地　山田
	放送部	今泉　久我
	環境部	栗原　前田
	保体部	笹子　小倉　山中
部活動	剣道部	飯田　海地
	バスケットボール部	山田　前田　中山（小学校）
	陸上競技部	笹子　庄司　小倉
	野球部	島津　栗原
笹子	吹奏楽部	今泉　久我
	駅伝部	飯田　笹子　庄司　小倉　全職員
	英語部	山田　全職員
ＴＴ指導	栗原　小倉	
総合的な学習の時間	栗原	
生徒指導	島津	
	教育相談	庄司　山中　ＳＣ
	長欠対策	山中　小倉
安全指導	笹子	
保健指導	山中　飯田　笹子	
食育・給食	山中	
特別支援教育	庄司　前田　今泉	
	特別支援教育コーディネーター	庄司
人権教育	海地	
図書館教育	海地	
生涯学習	教頭　栗原	
ＩＣＴ	海地　栗原	
キャリア教育	海地　山田　笹子	
	進路指導	海地　島津　今泉
小中連携	栗原　飯田　山田	
初任者研修	栗原　久我　山中	
福祉教育	栗原	

庶務

施設・設備	校舎南１階	職員室・校長室・会議室　栗原
		職員トイレ　山中
		玄関・事務室　相川
		保健室　山中
		更衣室　栗原　山田
		放送室　久我
		生徒昇降口　前田
		印刷室　相川
		相談室　山中
		東トイレ　小学校
		東階段　山田
教頭	校舎南２階	進路指導室　海地
		コンピュータ室　海地
		東トイレ　山中
		屋上出入口階段　笹子
		英語教室　山田
		グリーン・ふれあい　庄司　今泉
防火管理責任者	校舎北１階	生徒会室　小学校
		木工金工室・準備室　栗原
		家庭科室・準備室　今泉
		西トイレ　山中
		ピロティ　印南
教頭	校舎北２階	音楽室・準備室　今泉　小学校
		理科室・準備室　久我　小学校
		美術室　小倉　小学校
		美術準備室　小倉
		オアシス　前田
		配膳室　印南
		西トイレ　山中
		西階段　今泉
	その他	体育館部室　前田
		武道館　飯田
		プール　飯田
		体育倉庫・部室　笹子
		グラウンド　島津
		自転車置場　庄司
		多目的ホール　庄司
		図書室　海地
		中庭　笹子
		旧変電室　教頭
		普通教室　各学級担任
掲示	小倉　ポスター等	
営繕	施設設備の管理保管・営繕計画と内部指示・外部との渉外　教頭	
教頭	中規模の営繕　印南　※小規模の営繕は各管理担当職員で	
備品	作業具　印南	
	清掃用具　前田	
	職員図書・雑誌　海地	
	新聞　相川	
栗原	教具・教材　各主任	
	部活動　各顧問	
	視聴覚放送機器　海地	
	理振　久我　庄司	
	事務機器　相川	
	冷暖房器具　教頭　印南	
事務	公文書等受入　相川	
	文書処理　教頭	
	学籍・転出入　栗原	
	消耗品　相川	
	服務・証明　相川	
	給食　山中	
	応募作品　各主任	
相川	図書　海地	
	教科書　栗原　相川	
	ＡＬＴ　山田	
	振興センター　山中	
	月末統計　小倉	
	通知票・指導要録　栗原	
	校務支援システム　教頭　栗原	
経理	県・市会計　相川	
	電話　相川	
	購買　山中	
	PTA・体育振興会　教頭	
	職員会計・共済・互助会　相川	
	就学援助・特別支援奨励　相川	
相川	生徒会会計　久我　小倉	
	学校徴収金　相川	
	各学年会計担当	
渉外	ＰＴＡ　教頭	
	広報部　海地	
	環境部　笹子	
	研修部　山田	
	バレー部　教頭	
	小中体連　教頭　笹子	
	学警連　教頭　島津	
教頭	地域支援ボランティア　教頭　栗原	
	学校開放　教頭	

各種委員会

生徒指導・長欠対策・いじめ防止対策	島津　庄司　飯田　山中　栗原　ＳＣ
研究推進・学力向上	山田　島津　久我　栗原
進路指導	海地　島津　今泉　笹子　山田　栗原
健康体力推進	山中　飯田　笹子
特別支援教育	庄司　今泉　前田　笹子　山田　海地　栗原
働き方改革・モラールアップ	教頭　笹子　山田　海地　栗原
セクハラ等相談	教頭　山中

※　校長・教頭・教務は必要に応じてメンバーに入る。

9 沿　革

昭	22	5	神戸村・富崎村によって組合立房南中学校を開校
			（旧館山海軍砲術学校予備学生舎を使用）
	26	5	本校舎内に千葉県立安房第二高等学校房南分校を設置（短期家政科）
	29	5	館山市立房南中学校と改称（館山市に合併）
	36	10	技術家庭科室建築（160㎡）
	43	3	千葉県立安房南高等学校房南分校閉校
		4	新校舎建築着工
	44	4	新校舎完成　5月より授業開始
	46	10	体育館新築工事着工
	47	6	体育館竣工
			放送センター開設に伴い三元装置・LL教室を設置　視聴覚教育開始
			野球場バックネット新設
	51	3	給水塔・自転車置場・給食受入室完成
	53	4	県教委より学校安全推進地域研究中心校の指定
		7	学校環境整備（造園・植樹）
		8	プール竣工
	54	9	体育文化活動後援会設立
	55	1	学校安全優良校として県教育委員会表彰受賞
		3	PTAが健康安全研究の協力に安房地方学校保健会より表彰受賞
		11	学校安全教育の功績により県教育委員会表彰受賞
	56	3	第1回若潮マラソン大会会場
		4	柔剣道場竣工式
	57	1	全日本交通安全協会より交通安全教育の功績により全国表彰受賞
		3	日本学校安全会より学校安全教育の実践・研究の成果に感謝状受賞
		11	安全教育の功績により千葉県知事表彰受賞
	58	6	PTA運営及び活動の功績に県PTA連絡協議会長表彰受賞
		10	学校安全教育の功績により文部大臣表彰受賞
	59	7	学校安全教育の功績により内閣総理大臣表彰受賞
	61	9	開校40周年記念として同窓会より校旗寄贈
	62	8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場（ベスト16）
	63	4	農園にビニールハウス設置
		5	県教委より「心身障害者理解推進教育研究指定校」の委嘱
		8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場（ベスト8）
		10	トイレ水洗化　水洗便所3棟　集合浄化槽新設
平	元	10	県教委指定「心身障害者理解推進教育」公開研究会
	2	1	房南中新校舎建設推進委員会発足
		2	校舎建設市長陳情・議会へ請願（採択）
		8	3棟屋板修理完了
		12	3棟床張替完了
	3	2	校舎建設市長・議長へ請願
		5	千葉県福祉教育推進校の指定
		7	バックネット修理
		10	体育館屋根塗装
	5	3	房南中学校新校舎建設委員会に改名　焼却炉設置
		8	地質調査開始
	6	9	新校舎新築工事着工
	7	8	新校舎完成
		9	新校舎鍵引渡式　授業開始
	8	1	新校舎竣工式
		9	館山市教育委員会マイスクール推進事業研協力校の指定（地域人材活用開始）
	10	9	柔剣道場屋根修理完了
		11	県中学校剣道新人大会男子団体優勝
	11	7	プール塗装工事完了　県総合体育大会剣道男子団体優勝　女子準優勝
		8	全国中学校剣道大会男子団体出場
	12	7	県総合体育大会剣道女子団体優勝　男子5位　女子個人優勝
		8	関東中学校剣道大会女子団体3位
			全国中学校剣道大会女子団体ベスト8　女子個人敢闘賞
		11	子育てフォーラムin房南開催
		12	県中学校剣道新人大会女子団体優勝　女子個人優勝
	13	1	体育館耐震工事
		7	県総合体育大会剣道女子団体優勝　女子個人優勝
		8	全国中学校剣道大会女子団体出場　女子個人3位
		11	県中学校剣道新人大会女子団体優勝　女子個人優勝　同3位
			県教委指定「地域で育てる豊かな心」道徳授業公開
	14	8	県総合体育大会剣道女子団体優勝　女子個人優勝
			全国中学校剣道大会5年連続出場
		12	県中学校剣道新人大会男子団体優勝　女子個人3位
	15	8	関東中学校剣道大会男女団体出場
	16	4	学童農園　食育活動研究指定
		12	県中学校剣道新人大会男子団体準優勝
	17	3	日本教弘教育賞優良賞受賞　体育館西側のき裏補修工事
		8	関東中学校剣道大会女子団体出場
	18	3	体育館南側のき裏補修工事
	19	3	バリアフリー改修工事　体育館南側窓アルミサッシ交換
		8	陸上競技走り幅跳び関東・全国大会出場
		10	小中高等学校等連携授業公開
	20	3	体育館北側後部アルミサッシ交換
		8	陸上女子Jrオリンピッククラス B砲丸投出場
	21	3	体育館北側前部アルミサッシ交換
		8	陸上女子砲丸投関東大会出場
		12	体育館床改修
	22	3	教職員用コンピュータ購入
		10	千葉国体剣道競技練習会場　県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
	23	8	関東陸上競技棒高跳11位
		12	和のコンサート開催
	24	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
		10	県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
	25	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
	26	9	一貫校建設へのボーリング調査
	27	8	関東陸上競技棒高跳7位
	28	7	県総合体育大会陸上競技大会棒高跳優勝
	29	3	房南学園竣工式
		4	房南学園開校
	30	8	関東中学校剣道大会男子団体出場
令	3	2	台風15号被災箇所補修工事完了
	3	3	GIGAスクール構想環境整備完了

歴 代 校 長

初 代	昭和22年	和田　隆治	先生着任
2 代	昭和25年	長井　清	先生着任
3 代	昭和28年	鈴木　勝次	先生着任
4 代	昭和34年	鈴木　喜一	先生着任
5 代	昭和40年	勝又　秀雄	先生着任
6 代	昭和42年	佐野　初男	先生着任
7 代	昭和44年	左右加　寛	先生着任
8 代	昭和44年	首藤　倫己	先生着任
9 代	昭和47年	松田　正夫	先生着任
10 代	昭和52年	館石　竹男	先生着任
11 代	昭和56年	加瀬　一郎	先生着任
12 代	昭和60年	出山　恒男	先生着任
13 代	昭和61年	小松　雄光	先生着任
14 代	平成元年	宮本　昌弘	先生着任
15 代	平成5年	平島三千男	先生着任
16 代	平成7年	田口　秀雄	先生着任
17 代	平成9年	平野　明文	先生着任
18 代	平成11年	黒川　修	先生着任
19 代	平成14年	池田　公男	先生着任
20 代	平成16年	安田　茂	先生着任
21 代	平成18年	山口　正義	先生着任
22 代	平成21年	石橋　寿一	先生着任
23 代	平成27年	干場　立一	先生着任
24 代	平成29年	小柴　信弘	先生着任
25 代	平成31年	松山　毅	先生着任
26 代	令和3年	川名　厚	先生着任

館 山 市 立 船 形 こ ど も 園

所在地　館山市船形406－7
電　話　0470－27－2524
ＦＡＸ　0470－27－2524

1.　保育教育目標

『楽しく遊べる子』

目指す子ども像

（0，1，2歳児）　・なんでも食べる子
　　・健康で元気な子

（3，4，5歳児）　・明るく元気な子
　　・仲良く遊べる子
　　・自分の思いが伝えられる子

2.　経営方針と重点

経営方針

○　0歳児から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
○　一人ひとりの思いを生かして遊べる環境の構成に努め、調和のとれた体験ができるようにする。
○　基本的生活習慣の育成を図る。
○　船形小学校、家庭、地域との連携を密にし、協力しながら保育活動を推進する。

経営の重点

・　友達の話を聞き入れたり、自分の思いをはっきり言えるように援助する。
・　自然との触れ合い、季節の行事等を配慮した保育活動に努める。
・　集団遊びを中心とした様々な体験や異年齢間の交流を通して、主体的に遊ぶ力が育つように援助する。
・　家庭と連携をとりながら基本的な生活習慣が身につくように援助する。
・　日常の保育活動や、小学校との交流を通して異年齢間の育ち合いや望ましい人間関係を築けるよう、日々の活動内容を見直すと共に、意図的な活動の設定、各園・校と連携をとりながら個々の姿に合わせた援助を検討する。

3.　研究計画

（1）　研究テーマ

「意欲的に遊ぶ幼児を目指して」　～楽しく体を動かす遊びを通して～

（2）　研究内容

・意欲的に運動遊びに取り組めるような環境設定を、発達段階を捉え計画的に行う。
・職員間での保育カンファレンスの時間を確保する。
・保護者へのアンケートを実施し、家庭での遊びの様子や保護者の考えを知る。

4.　日課表

7:00　8:50　9:00　12:00　13:30　14:00　15:00　16:00　18:00

4，5歳児（短時間児）		登園	降園、預かり保育		
4，5歳児（長時間児）	随時登園	移動	幼保一元化カリキュラムに基づく指導	午睡	おやつ、遊び
0～3歳児	遊　び		午睡		随 時 降 園

5.　学級編成・担任

（令和5年5月1日現在）

組名	年齢	男	女	合計	担任名	職名	氏名
ちゅうりっぷ組	0歳児	3	2	5	安田　友紀・大木　綾子（会）・川間るみ子（会）	園　長	鈴木　直子
も　も　組	1歳児	9	4	13	吉村　萌海　・白石美里（会）・福本佳那子（会）	保育主任	石橋　雅代
						看護師	川名　夏美(会)
さ　く　ら　組	2歳児	5	7	12	島田　理沙　・畠山恵美（会）・井月貴子（会）	調 理 士	内堀　啓子（会）
た ん ぽ ぽ組	3歳児	9	8	17	伊藤　淳恵・小澤　真弓（会）		小谷　早季(会)
す み れ　組	4歳児	10	8	18	鈴木優佳　・大森千佳子（会）		角田　敏枝（会）
ゆ　り　組	5歳児	8	7	15	小谷　香子　・　丸山　志伸（会）		平野　朝美（会）
合　　計		44	36	80	＊（会）・・・会計任用職員	保育補助員	能重　智枝(会)

6.　運営組織・園務分掌

園長　鈴木

- 学級経営
  - 0歳児（安田・大木・川間）　1歳児（吉村・白石・福本）　2歳児（島田・畠山・井月）
  - 3歳児（伊藤・小澤）　4歳児（優・大森）　5歳児（小谷・丸山）　教育・保育指導（石橋）
- 研究・研修
  - 研究推進（石橋・伊藤・小谷・安田・島田）　保育士会（鈴木・石橋・伊藤・安田・小谷・島田・優・吉
  - 幼教研（鈴木・鈴木優・小谷）　研修検討委員（石橋）
- 運　営
  - 4月・9月（鈴木優）　5月・11月（安田）　6月・12月（吉村）　7月・1月（島田）
  - 8月・2月（伊藤）　10月（小谷）　3月（石橋）
- 文章・事務
  - 服務・公文書・沿革誌・調査統計・定例報告（鈴木）　日本スポーツ振興センター（石橋）
  - 出席簿（伊藤）　掲示板（石橋）　交通安全教室（石橋）　保育実習（石橋）
- 経　理
  - 保育料（鈴木）　市経理消耗、給食（石橋）　絵本（石橋）　職員会計（優・吉村）　給食費（石橋）
- 管　理
  - 施設管理（鈴木）　安全点検・営繕関係（鈴木・島田・能重）　備品（石橋）　花壇（能重）
- 渉　外
  - 園長会・教頭会（鈴木）　保育主任会（石橋）　市職員組合（吉村）
  - 研修検討委員会（石橋）　苦情解決（鈴木・石橋）　小学校交流（鈴木・石橋・小谷）
- 子育て支援
  - 在宅ちびっこデー（石橋）　子育て相談（鈴木）　預かり保育(小谷・鈴木優・大森・丸山)
- 給　食
  - 調理・食材管理・食材発注（角田・内堀・小谷・平野）　給食献立（角田・内堀・小谷・平野）
- 保　健
  - 看護と保健の指導・発育測定（川名夏）

7.　沿革

昭和33.　4　館山市立船形小学校附属幼稚園として設立。学級数1、園児数35名
41.　4　小学校附属制を廃し、館山市立船形幼稚園となる。
43.　4　二年課程認可　学級数　年長2、年少1　園児数92名
45.　4　兼務園長制を廃し、専任園長制となる。
51.　4　専任園長制を廃し、船形小学校長兼務となる。
57.　4　年齢別学級の編制をとる。学級数　年長2、年少1　園児数94名
58.　3　新園舎竣工341㎡、鉄筋コンクリート平屋建、保育室4、教材室1、機械室1、職員室1
9　アスレチック設置
60.　2　館山市教育委員会指定健康教育（はだか、はだし）公開研究会
平成 元. 12　砂場遊具用倉庫完成
3.　9　船形幼稚園めだかクラブ、関東管区表彰を受ける。
4.　5　船形幼稚園の園歌できる。（作詞　柴山齋、作曲　佐野正己）
5.　4　平成5・6年館山市教育委員会指定研究委嘱される。
7.　1　船形幼稚園めだかクラブ、交通安全優良団体全国表彰を受ける。
7.　3　館山市教育委員会指定研究発表「自分を表現し、生き生きと遊べる子の育成」
7.　7　全校幼稚園教育研究会岐阜大会において船形幼稚園研究提案を発表する。
8.　5　船形幼稚園父母の会、千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会より表彰を受ける。
10. 10　学校給食導入
12.　5　大型遊具設置（少子化対策事業）
13.　4　平成13・14年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。
14.　2　館山市教育委員会指定研究報告を行う。
18.　4　平成18・19年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。預かり保育実施（月～金曜日3時まで）
19.　2　館山市教育委員会指定研究報告、誌面にて発表。
24. 11　幼保一元化施設整備工事完了。
25.　4　船形幼稚園と船形保育園が幼保連携型認定こども園となり、館山市立船形こども園として開園する。
27.　7　総合遊具設置

館山市立那古幼稚園

所在地　館山市那古272
電話　0470−27−4502
FAX　0470−27−4502

１．教育目標

明るい子、元気な子、思いやりのある子の育成

【めざす子ども像】

明るく元気な子	思いやりのある子	意欲的に遊べる子
○元気よく返事ができる ○最後までやり抜く ○健康で安全に気を付ける	○明るく挨拶ができる ○友達となかよくできる ○素直に表現できる	○自分からやってみようとする ○困難が乗り越えられる ○人の話を聞き、相手に分かるように話す

２．経営方針・重点

（1）経営方針

①経　　営:「あしたも行きたい幼稚園」をめざし、生きる力の基礎を養い、創意ある教育課程の実施。地域に開かれ、保護者に信頼される園づくりと園評価の実施。小学校との円滑な接続を意識した幼稚園経営。

②保育指導:教育目標の実現をめざす教育計画の着実な実践。多様な遊びを通して豊かな感性や道徳性の育成。発達の段階に即した指導と変容の的確な把握。読書の推進。

③生活習慣:豊かな心の育成と望ましい人間関係づくりをすすめ、自立心と好ましい生活習慣が身につくよう援助。

④健康教育:体を動かし、健康で安全に生活しようとする意欲・多様な動きを経験し、健康的な生活をしようとする実践力の育成。食に関する指導の充実。

⑤キャリア教育:当番活動等を通して、自発的・主体的な活動を促す。

⑥研　　修:教師の資質・能力を高める実践研究を行い、研究・研修活動に積極的に参加する。教育要領に基づく指導計画のＰＤＣＡサイクルの実施。

⑦環　　境:園内運動施設や自然環境、絵本や教具等の整備・活用。

（2）重点

①明るく元気な子の育成

○幼児が十分に体を動かし、健康で安全な生活を送れるようにしながら、しなやかな心と体の発達を促す。

②思いやりのある子の育成

○集団生活の中で人とのかかわり方を知り、望ましい生活態度や習慣を身に付けられるようにする。

③意欲的に遊べる子の育成

○遊びを作り出して、意欲的に打ち込める環境を用意する。

（3）開かれた幼稚園づくりの推進

①いつでも参観できる開かれた幼稚園づくりと園情報の発信

②ボランティアや父母の会との連携による諸活動の推進

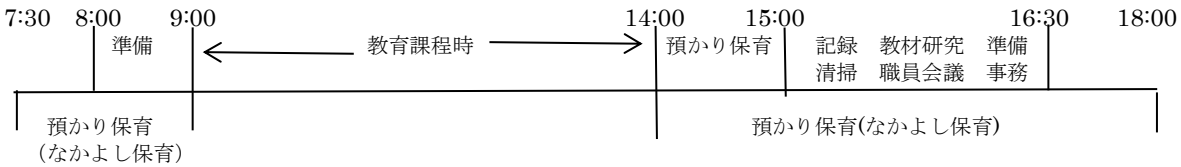
③預かり保育の実施等、「子育て支援センター」としての役割を果たすよう努力

３．研究計画

(1) 研究テーマ「道徳性の芽生え」を支援する保育のあり方～小学校教育への接続を見据えて～

(2) 研究内容　①思いやりや生命を大切にする心を育てる支援。
②自分の思いを自分なりに表現する環境や活動の工夫をする。
③家庭や小学校との連携を深め、就学へつながる道徳性の芽生えのあり方を探る。

４．日課表



＊園内研修　　木曜日
＊幼こ教研　　第２水曜日
＊教頭会　　第１火曜日

５．学級編制・職員構成

（令和５年５月１日現在）

職　名	氏　　名	組名	年齢	在籍数		
				男	女	計
園　長	田中　和人					
教　頭	杉江　ひろ子					
教　諭	石井　貴哉	さくら	５歳	６	６	１２
教　諭	小原　明加梨	つばめ	４歳	５	５	１０
学習支援員	佐野　和江・髙橋　知佐子					
用務員	糟谷　節子					
		計		１１	１１	２２

６．運営組織・園務分掌

田中　和人（園長）全般

- 杉江ひろ子
  - 教務・・儀式
  - 事務・・公文書・服務・定例報告・調査統計・防災
  - 管理・・安全点検・施設管理
  - 渉外・・父母の会・交通安全教室・教頭会・幼稚園こども園協会
- 石井　貴哉
  - 教務・・学級経営・研究主任・運動会・発表会・幼小交流
  - 事務・・市経理・教材・絵本・営繕・日本スポーツ振興センター
  - 管理・・安全点検・教材・遊具管理・環境整備・飼育栽培
- 小原明加梨
  - 教務・・学級経営・園外学習・誕生会・ちびっ子デー
  - 事務・・預かり保育・市経理・用品・給食・保健
  - 管理・・図書・環境整備・視聴覚教材

７．沿　革

昭２９．４　那古小学校５０周年記念事業の一環として、那古小学校附属幼稚園として創設される。
３２．４　小学校校舎増改築成り、幼稚園は西側校舎３教室にて、一応経営が正常化される。
４１．４　幼稚園の附属制を廃し、館山市立那古幼稚園となる。
４３．４　２年年少組を増設される。
４５．４　兼務園長制を廃し、独立専任園長制になる。
５１．４　専任園長制を廃し、兼務園長制となる。
５２．４　３学級となり，混合学級（年長・年少）設置。
５４．４　入園児の増加により、４学級となる。
５６．４　３学級となり、混合学級となる。
５７．４　入園児の増加により４学級となる。
５７．５　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
６０．４　入園児の減少により３学級となる。
６１．２　新園舎竣工。
６１．４　アスレチック設置。
６２．４　入園児の増加により４学級となる。
６３．11　６２・６３年度市教委指定による公開研究会を行う。
平　元．４　交通安全教育推進地域事業の中心園として市教委より指定を受ける。併せて日本交通安全普及協会から２ヵ年間の交通安全教育の研究指定を受ける。
元．11　市教委指定による交通安全教育推進地域事業の中間発表を行う。
２．４　入園児の減少により３学級となる。
２．４　日本体育・学校健康センター指定により、２ヵ年間の交通安全教育に関する研究指定を受ける。
２．11　交通安全教育推進地域事業公開研究会（全国）を開催。
３．４　入園児の減少により、２学級となる。
４．３　日本体育・学校健康センター指定　第２７回学校安全研究大会において研究発表。
４．７　シャワー室設置。
11．１　全日本交通安全協会より、交通安全優良団体表彰を受ける。
12．１　大型遊具設置（少子化対策事業）
13．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
14．４　入園児の増加により、３学級となる。
15．２　１３・１４年度市教委指定による研究報告会を行う。
16．４　入園児の減少により、２学級となる。
17．１　那古幼稚園５０年記念事業により園歌・園章を制定する。
18．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
20．２　研究報告書『より豊かに表現できる子をめざして』刊行。
26．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
28．３　研究報告書『友達のよさに気付き、協同して遊ぶ子どもをめざして』作成
令　３．６　県教委より「特色のある道徳教育推進校」（２ヶ年）研究指定を受ける。
４．４　長時間預かり保育（なかよし保育）開始

館 山 市 立 北 条 幼 稚 園

所在地　館山市北条４０２－２
電　話　０４７０－２２－０７００
ＦＡＸ　０４７０－２４－０７６６

１．教育目標

「生き生きとなかよく遊ぶ子ども」を育てる。

２．経営方針・重点

（１）伸び伸びと意欲的に遊びに打ち込める環境を用意し，効果的な援助をしていく。

（２）たくさんの友だちと力いっぱい遊べる場と時間を保障する。

（３）生き物や自然とのふれあいの場をできるだけ多く用意する。

（４）幼児の驚きや喜び，悲しみなどに共感でき，幼児の気持ちがくみ取れる教師になる。

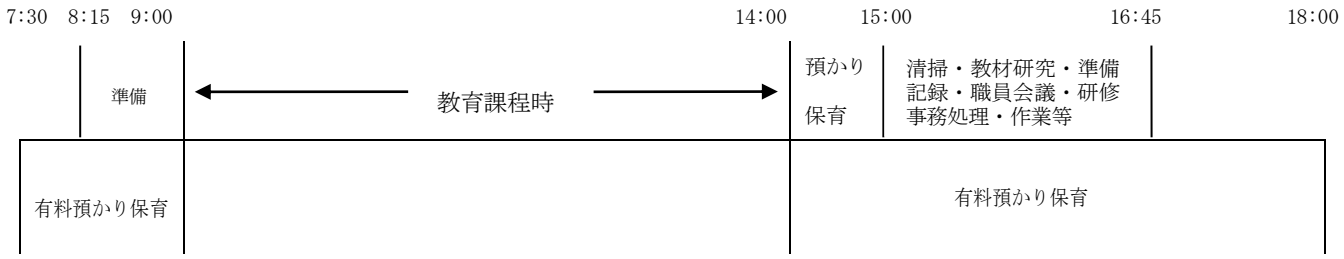
（５）地域や家庭と緊密な連携をとる開かれた園経営に努める。

３．研究計画

（１）研究テーマ　　「生き生きとなかよく遊ぶ子ども」を育てる。
～指導計画を考える～

（２）研究の方法
・幼児の実態を把握する。
・指導計画を見直す。
・具体的な実践計画となるよう，環境構成・教師の援助等を入れたものにする。
・幼稚園教育研究会，実技講習会等に積極的に参加し実践計画に組み込む。

４．日課表



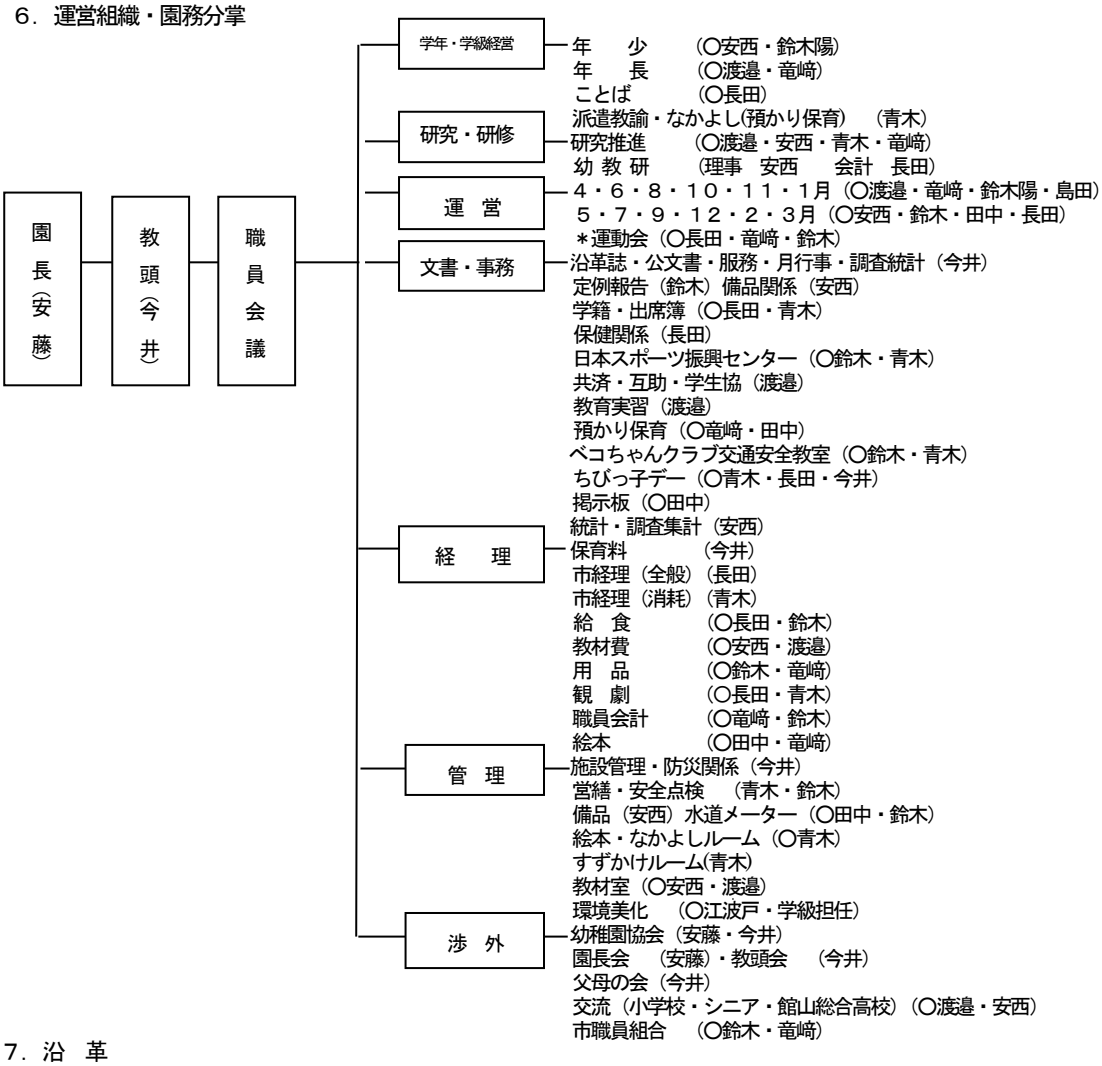
※月～金　　８：２５～　８：３５　職員打合せ
※月～金　１４：００～１５：００　希望者預かり保育実施
※月～金　　７：３０～　９：００　１４：００～１８：００　有料預かり保育実施

５．学級編制・担任

学級数　４　学級　　園児数　９８名

学年	組名	男	女	計	合計	担　任　名	職　　名	氏　　名
年少	り　す	１３	１０	２３	４７	鈴　木　陽　芽	園　　長	安　藤　深佳子
	うさぎ	１４	１０	２４		安西　　渉	教　　頭	今　井　知　恵
年長	つ　き	１２	１２	２５	５１	竜　﨑　智　代	派遣教諭 長時間保育	青　木　美奈子
	そ　ら	１３	１３	２６		渡　邉　真由美		
合　　計		５５	５４	１０９	９８		言葉の教室	長　田　恵　美

６．運営組織・園務分掌



７．沿　革

昭和	2.	6.	10	北条尋常高等小学校附属幼稚園として設立。保育室３７５坪，園児１９０名。
	35.	5.	1	放送教育研究園として，ＮＨＫより表彰される。
	37.	11.	3	放送教育研究園として，全国放送連盟会長賞を受賞する。
	39.	7.	4	第 13 回読売教育賞を受賞する。
	41.	4.	1	附属幼稚園制を廃し，館山市立北条幼稚園となる。
	45.	4.	1	兼務園長制を廃し，独立専任園長制となる。 幼児ことばの教室担当職員１名を北条小学校言語治療教室へ配置。
	45.	8.	22	新園舎竣工。建設費４０，０３１千円，工事費３２，７００千円。
	46.	11.	1	学習条件整備，学習方法の改善について，県教育委員会より表彰される。
	46.	12.	1	文部省指定公開研究会を行う。（数量に関する研究）
	47.	4.	1	幼児教育研究会を開催する。
	49.	3.	1	放送教育実践園として，ＮＨＫより表彰される。
	51.	4.	1	専任園長制を廃し，北条小学校長兼務園長制となる。
	51.	10.	1	館山市教育委員会指定による公開研究会を行う。
	57.	10.	29	館山市教育委員会，県国公立幼稚園協会指定による公開研究会を行う。
	58.	10.	28	県教育委員会，館山市教育委員会指定による幼小関連教育公開研究会を行う。
	60.	4.	1	言語治療教室の一部を幼稚園に移し，２教室をこれに充てる。
	60.	6.	26	県視聴覚研究会，県国公立幼稚園協会指定による視聴覚教育公開研究会を行う。
	63.	2.	3	視聴覚教育の功績を認められ，千葉県視聴覚ライブラリー連絡協議会，千葉県視聴覚教育連絡協議会より表彰される。
平成元.		11.	29	館山市教育委員会指定による公開研究会を行う。
	2.	8.	1	保育室出入り口，廊下，床の改修工事を行う。
	2.	12.	25	通園路舗装工事を行う。
	3.	8.	1	ことばの教室の改築工事を行う。
	5.	11.	17	館山市教育委員会指定による公開研究会を行う。
	9.	9.	1	預かり保育開始
	9.	11.	21	文部省，館山市教育委員会指定による公開研究会を行う。（思考力の芽生えを培う）
	10.	10.	1	幼稚園給食始まる。
	11.	3.	31	少子化対策事業により，総合遊具が設置される。
	11.	5.	12	平成 11～12 年度千葉県国公立幼稚園協会の会長，事務局園を受ける。
	12.	4.	1	文部省より『高校生等保育・介護体験総合推進事業』実践調査研究委託を受ける。
	14.	2.	5	文部科学省，館山市教育委員会指定による研究発表会を行う。
	14.	5.	1	国の雇用対策の一環として，教育補助員が配置される。
	14.	9.	30	交通安全功労団体として，関東管区警察局長・同交通安全協会連合会長より表彰される。
	16.	5.	19	千葉県国公立幼稚園ＰＴＡ連絡協議会より北条幼稚園ＰＴＡが表彰される。
	19.	2.	23	館山市教育委員会指定による研究発表会を行う。
	21.	1.	16	全日本交通安全協会より北条幼稚園交通安全クラブが表彰される。
	24.	4.	1	館山市教育委員会より研究指定を受ける。（24・25 年度）
	26	11.	7	千葉県国公立幼稚園協会指定公開研究会
	27.	11.	13	関東甲信越国公立幼稚園・こども園長研究協議会　提案発表
	28.	9.	1	新園舎竣工。建設費　６億６，７１１万円
	29.	4.	1	有料預かり保育(長時間保育) 開始